あなたの力を府職労へ
加入・カンパにご協力を！

「府職の友」は組合費で作成しています。組合未加入のみなさんにはカンパにご協力お願いします。

振込先　りそな銀行大手支店　普通0006688
大阪府関係職員労働組合

府職の友
FUSYOKU NO TOMO

2063号　2017年7月19日

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008　大阪市中央区大手前2-1-59
電話　06（6941）0351・内線3740
直通06（6941）3079 FAX06（6941）4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／有田　洋明　編集人／小松　康則
（一部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

2017若手職員のつどい

つながって学んで 充実の2日間

7月7日（金）夜～8日（土）午後まで、京都市内にて「若手職員のつどい」を開催しました。全体で40名が参加し、各職場からたくさんの若手・青年職員が参加しました。

とてもわかりやすい
神部紅さんの講演

参加者みんなが仲良く交流

1日目の夕食交流会では、仕事の都合等もあり、参加者の集まりは悪かったものの、20時過ぎにはみんな集まり、利き酒や利きオレンジジュースや〝お名前ビンゴ〟で大いに盛り上がりました。お名前ビンゴでは、単に名前を聞くだけではなく「何か1つ質問を！」としたことで、あちらこちらで対話が弾み、大いに交流を深めることができました。二次会交流会では、女性を中心にミニワインパーティーも企画され、それぞれ楽しく交流しました。

働きやすい職場のために労働組合が大切

2日目は「府民のためのいい仕事をするために―労働組合の大切さと仲間づくり―」というテーマで、神部紅さん（〝No More 賃金泥棒プロジェクト〟呼びかけ人）の講演があり、若者の働かされ方や労働組合の意義・役割、仲間づくりについて学びました。

講演のあとは、青年・若手職員が3つのグループに分かれて「要求づくりワーキング」を行いました。

話し合った要求を報告する青年・若手職員

ワーキングは初めての試みでしたが、どのグループでも次から次に不満や不安が出され、みんなで思いを共有しながら要求づくりを行い、それぞれのグループで要求書をまとめ発表しました。

このワーキングで出された要求も踏まえ、青年部では要求書づくりに取り組むことにしています。

お名前ビンゴで大盛り上がり（大騒ぎ!?）

参加者の感想

考え行動することの大切さを学んだ

保健所支部　石川　麗

神部さんの講演は、非常に熱く、具体的で、とても分かりやすかったです。「職場で起きているハラスメントに泣き寝入りすることは、その被害を次の誰かになすりつけることだ」という指摘は、耳が痛いと同時に、すとんと腑に落ちるものでした。労働問題に熱心に取り組んでいらっしゃる方だからこそ出せる話題、言葉がたくさんあり、講演全体を通して、とても励まされました。

私たちは「ゆとり世代」「さとり世代」と呼ばれ、その名にふさわしい教育を受けてきました。波風を立てないことが最優先。仮に声を上げたって、誰にもどこにも響かない…という思い込みがあります。期待を裏切られることを怖れて、動くことをためらう自分がいます。しかし「小さなことから取り組むことが大事」ということに勇気を頂きました。勝手に大きな夢を見て勝手に失望するのではなく「今、ここで、できることは何だろう?」と考え、行動していくことを大事にしたいと思います。

思いが共感できた充実の2日間

大阪国際がんセンター支部　松本　充恵

2017年若手職員のつどいに参加させていただきました。1日目の夕食交流会では、知らない方が多く不安でしたが、先輩方が積極的に話しかけてくださり、他部署の方とお話しすることができました。交流会の中盤では、利き酒&利きオレンジジュースというゲームが開催され、お酒が飲めない私は、利きオレンジジュースに張り切って挑みましたが、結果はポンジュースすら正解できずに惨敗でした。

翌日は「府民のためのいい仕事をするために―労働組合の大切さと仲間づくり―」というテーマで、神部紅さんの講演を聴きました。その後、若手職員が3つのグループに分かれて「若手職員の不満や願いを聞いて！要求づくりワーキング」を行いました。職種も職場も違う6人のグループでしたが、不満や要求には共通点も多く、みんなが共感できる要求書を作成することができ充実の2日間でした。

心ゆくまで交流し気づきや学び得られた

土建支部　脇田　菜美

若手職員のつどいに初めて参加しました。今回のつどいでは、普段話すめ